



# 35 創立：1984.7.10 / 証認：1984.8.6 国際ロータリー第2660地区 大阪鶴見ロータリークラブ会報

事務所：〒534-0026 大阪市都島区網嶋町9番10号 太閤園内  
電話：06-6357-8171 ファックス：06-6357-8011  
例会日：毎週火曜日 12時30分 / 例会場：太閤園  
会長：山本隆一 / 幹事：源壽美子 / SAA：山崎修一  
電子メール：rcosatrm@cf.mbn.or.jp  
ホームページ：http://rc-osaka-tsurumi.jp/



インスピレーションになろう

## 本日の例会

〈第1623回〉 2019年3月5日(火) 本年度第27回

### 卓話

今年の医療系国家試験問題から

担当：谷会員

- ロータリーソング
  - ランチタイムミュージック
- 君が代・四つのテスト

## 次回の例会

3月12日(火)

### 次回卓話

近況報告

担当：山川会員

## 前回の報告

### PRESIDENT INFORMATION 会長インフォメーション 会長：山本隆一

二宮尊徳が実践した、  
報徳を以ってロータリーを理解する② 最終回

今年度始まって以来、私は、この会長インフォメーションを地区研修会で学んだ「会長インフォメーションはロータリーの話をするためにあり、決して世間話をする場ではない」に則ってやってきたつもりです。そして、深川純一パストガバナーより学ばせて頂いた事

- ①ロータリー運動は倫理運動である
- ②ロータリーは心の開発を第一義とする団体である
- ③ロータリーのロータリーたる所以は職業奉仕の実践にある
- ④職業奉仕の実践は先ず例会出席にはじまる
- ⑤職業を倫理的に営むべし
- ⑥ロータリーはボランティア団体ではない

をロータリーの本質と捉え、それを基軸としてやってき

ました。そして、この考え方を理解する方法として、二宮尊徳の報徳を学ぶことが適当ではないかと考えました。報徳は、①人としてあるべき姿②ビジネスのあるべき姿③社会貢献のあるべき姿、言い換えれば、ロータリーのあるべき姿の具体的モデルの一つだと思ったのです。以来、今日まで20回にわたり拙い話をさせて頂きました。皆様におかれましては、さぞかし飽き飽きされたことと思います。しかし、私は、ロータリーの本質を私なりにクラブ内外に発信することが自分の最も重要な役目の一つだと思ってきました。勿論、実際にそれができている、できていないは別ですが。それはともかく、ポイントとして次のようなことがいえると考えます。

- ①ロータリーの会員資格はビジネス界に籍を置く者であること
- ②例会は切磋琢磨して自己研鑽する場、精神修養の場であること
- ③職業奉仕として、社会のために道徳精神に基づく勤労をすること
- ④社会奉仕として、実社会において報徳でいう推譲を

(2ページへ続く)

## 水と衛生月間

大阪鶴見ロータリークラブテーマ「もっとエモーショナルなクラブへ」

(1ページより)

実践すること

⑤上記③④両方を実践するのがロータリーであるということ

深川パストガバナーの説く「ロータリーはボランティア団体ではない」「慈善活動はロータリーでなくてもできる」は極めて重要な指摘だと思います。これは他団体にはないロータリーの特長を突いていて、尊徳の道德経済一元論にも通じるものがあると思います。ビジネスとボランティアは相対するものです。一方、ロータリーにはボランティア団体の側面もあると思います。しかし、非営利団体であるボランティア団体とロータリーが一線を画する点は、ロータリーがビジネスとボランティアを融合させている点にあると思います。奉仕団体としてそれぞれに違いがあり、その違いを具体的に認識する必要があります。他団体との明確な違いを継続的に訴求すれば、やがて会員増強にも繋がると思います。ロータリーの会員であれば誰でも「良い人に出会えた」「良い勉強が出来た」「仕事にプラスになった」と思った経験があると思います。皆様には是非、「入会して良かった」と思ったご自身の体験を大いに発信して頂きたいと思います。

### 幹事報告

幹事:源 壽美子

- 3月 2日(土) 会長エレクトセミナー 大草エレクト出席されます。
- 5日(土) 現・次年度 理事会・第4回炉辺会合
- 23日(土) IM3組ロータリーデー

### 🎉 今月の表彰とお祝い 🎉

#### 誕生日

源、巽

#### 在籍年数

【33年】浮舟 【10年】津野 【9年】鳥居

#### ホームクラブ10回連続賞

源、佐藤

#### 結婚記念日

佐藤、山崎、山本(隆)、笛吹、覚野

#### 事業所創立日

3/3 広瀬、西野 3/27 田中(英)、浮舟

各会員

😊 NIKONIKO箱 😊

¥16,000.-

累計 ¥660,000.-

巽 会員 35周年記念事業「アーモンドの森」の植樹式に参加できなくて大変申し訳ございませんでした。

濃 添 会員 アーモンドの森植樹式お疲れさまでした。

広 瀬 会員 例回連続欠席のお詫び。

秀 島 会員 前回例会欠席のお詫び。

水 間 会員 3月1日(金)大阪ビルボードライブに、ソウルコーラスグループ、ザ・マンハッタングスがやってきます。嫁はんと行ってきます。仲のおよろしいことで。

### R財団委員会報告

委員長:笛吹明男

2月16日(土)に、大草会員、濃添会員とともに地区ロータリー財団補助金管理セミナーに出席しました。東日本大震災で被害を受けた気仙沼市のこどもミュージカル劇団「うを座」の継続発展を支援した大阪リバーサイドロータリー、肢体不自由者の交野自立センターへの軽自動車寄贈や障害者のむらの高等支援学校へi-PAD 寄贈など地元への社会貢献活動をしている枚方ロータリー、カンボジア妊産婦へエコー機器を使った健康診断や母親学級の開催など国際奉仕活動を行った高槻東ロータリー、病気やケガをしても公共交通機関が未整備で治療を受けられないミャンマーの田舎へ医者・看護師・薬を乗せたドクターカーが患者のところへ救急治療する仕組みの国際奉仕活動をした吹田ロータリーの事例発表がありました。第2660地区は、全国の34地区の中でも社会奉仕活動や国際奉仕活動が際立っており、次年度も各ロータリーで積極的な企画を行うよう要請がありました。

### 親睦委員会報告

委員長:吉羽潤司

3月5日開催の35周年事業打ち上げ兼第4回炉辺会合は津野会員に手配をして頂いて頂いて、ビール、ワイン、カクテルはお楽しみ頂けますが、その他に是非欲しいお酒類があれば、吉羽までご連絡ください。津野会員のお力添えで手配できる可能性がございます。

また、今年度の結婚記念日のお祝いでお送りしている品物は、ソープフラワーです。目で楽しんだ後は石鹸としてご利用頂けますので、そちらでもお楽しみください。

### 国際奉仕委員会

委員長:発 剛士

昨年12月に台北市華朋RCより共同事業の提案があり、台北市へ赴き韓行一會長より台湾の地方にいる子供達にプログラミング設計を教える奉仕内容の説明を受け、当クラブ理事会にて審議に諮った結果\$1000を協賛することが承認され送金を完了しました。

次回の炉辺会合に源幹事が、2名候補者をお連れいただけるそうです。

私も前回の炉辺会合に連れてきたタイ人のクリャン君を誘うつもりです。

今後共、皆さんも会員増強活動にご協力を宜しくお願いします。

### 植樹式にあたってのお祝いと御礼

鶴見区長 河村浩一

「鶴見緑地にアーモンドの森を作ろう」植樹式が盛大に開催されましたことを心からお祝い申し上げます。

鶴見緑地には大阪鶴見ロータリークラブ様から寄贈いただいた50本のアーモンドの苗木が植えられていましたが、このたび大阪鶴見ロータリークラブ創立35周年記念事業として新たに50本を寄贈いただき、合計100本の苗木による「アーモンドの森」が完成いたしました。誠にありがとうございます。

アーモンドは、サクラの花に似た花を咲かせます。サクラのお花見の前にアーモンドのお花見を楽しむことができるのは、鶴見区の魅力のひとつであり自慢でもございます。

1990年に「国際花と緑の博覧会」が開催されたこの鶴見緑地は、来年開催30周年を迎えます。その鶴見緑地の中で、「アーモンドの森」は、いまや一大名所として区民の皆さまをはじめ多くの皆さまに親しまれています。これからも、鶴見緑地の名所としてだけでなく、鶴見区の名所、大阪市の名所として、アーモンドの森を大切にしていきたいと思っております。

大阪鶴見ロータリークラブ様の今後ますますのご発展と、皆様方のご健勝ご多幸、そして未来を担う鶴見区の宝物である子どもたちの健やかな成長を心からお祈りいたしまして、お祝いと御礼のことばとさせていただきます。

### お祝いの言葉

国際ロータリー第2660地区  
ロータリー財団委員長 福家 宏

ご紹介を頂きました、地区ロータリー財団委員長の福家 宏でございます。

此の度は貴クラブ創立35周年記念事業である「アーモンドの森を作る」プロジェクトの記念植樹式にお招き

にあずかりまして、誠に有難うございます。

大阪鶴見ロータリークラブ、山本会長様、山崎35周年実行委員長様を初め、貴クラブの皆様ご家族の皆様心からお慶びを申し上げます。

貴クラブは創立5周年から始まり、10周年、20周年、30周年にも一貫してこの鶴見緑地の環境造りに貢献して来られました。そしてこの度は5年前のアーモンドの森プロジェクトを更に拡大する形でこのプロジェクトを実施されるわけでありまして、このような地元密着型の社会奉仕活動は、ロータリー財団が一番に推奨している活動でございます。「人が環境を作り、環境が人を作る」と言われます。そういう意味からも貴クラブのお取り組みに私は心から敬意を表するものでございます。

一方貴クラブは従来より「国際の鶴見」言われているとのことで、このような地元密着型の社会奉仕事業に留まらず、国際奉仕活動にも大きな力を注いで来られました。鶴見区民祭りに多くの留学生をお招きになり「国際交流のつどい」と称するイベントを30年間に渡り、続けておられることは本当に素晴らしいことだと思います。また貴クラブの佐藤俊一様はかつて地区のロータリー財団委員長をお務めになられ、私は佐藤様のご指導を受けながら佐藤様ご退任後に1度目の地区ロータリー財団委員長に佐藤様からご推挙頂きました。佐藤様はかつての財団プログラムである、GSE(研究グループ交換)の団長として米国テキサス州に赴き、GSEチームのリーダーをお務めになりました。このことも、貴クラブが国際奉仕活動にいかに熱心に取り組まれているかの、表れであろうと思っております。

本日の植樹により、この場所にさらに立派なアーモンドの森が育って参りますことを心から祈念致します。

また貴クラブの益々のご発展、ロータリアンの皆様ご家族の皆様のご健勝をお祈り致しまして、私のご挨拶と致します。

本日はおめでとうございます。



### 出席報告

2月26日【1622回】

|               |              |   |       |            |
|---------------|--------------|---|-------|------------|
| 会員数           | 33名          | ● | ビジター  | 0名         |
| (内出席規定免除 11名) |              | ● | ゲスト   | 0名         |
| 出席会員          | 22名中 14名     | ● | 出席総数  | 22名        |
| 出席免除会員        | 11名中 8名      | ● | 前々回   | 2/5 M/U 0名 |
| 出席率           | 22/30 73.33% | ● | 修正出席率 | 82.14%     |

担当:秀島会員

## 卓 話

### 職業人教育と専門学校

担当：浮舟会員

1976年、35歳のとき、大阪で歯科技工の専門学校を立ち上げたのが職業人教育の始まりです。バブル崩壊後の1992年、18歳人口がピークだったときに学校数10校、学生数1万人でした。この時から5カ年計画を立てるようになり、現在第6次5カ年計画中で、全国に75校3万5000人の学生さんに学んでいただける学校グループとなりました。

ご存知だと思いますが、SDGs (Sustainable Development Goals)、2015年の国連サミットで採択された2030年に向けての「持続可能な開発目標」です。世界を変革する17のゴールと169のターゲットから構成され、ゴールの4番目に「質の高い教育をみんなに」が謳われました。ターゲットでは、「全ての人々が男女の区別なく、手の届く質の高い技術教育・職業教育及び大学を含む高等教育への平等なアクセスを得られるようにする」と記されました。

昨年11月には中央教育審議会が、2040年に向けた高等教育のグランドデザインを答申し、安倍内閣は人づくり革命の実現と拡大を目指し、高等教育の無償化や実践的職業教育の推進、リカレント教育、外国人の受け入れなどを進めています。我々としても、教育に関する世界の大きな流れの中で「職業人教育」についてその重要性を受け止め、真剣に取り組んでいるところです。

専門学校は法律の上では専修学校と呼ばれ、都道府県知事の認可を受けて設置される高等教育機関です。専修学校には、専門課程をもち高校を卒業した人が進む「専門学校」と、中学を卒業した人が進む「高等専修学校」があります。専門学校への入学生は、高校生のほか大学生や社会人、留学生など多様化していますが、大卒の入学生が4割を占める学校もあります。就職率は大学、短大より高く、8割台で推移しています。

滋慶学園グループは現在、500職種の職業人材を養成しています。文科省は産業界と密接に連携したカリキュラ

ムで質の高い教育を行なっている課程を「職業実践専門課程」として認めています。全国の約3割ですが、本学園グループは6割を超える55校221学科が認められています。海外46カ国から1961人の留学生を受け入れています。毎年5千人を超える学生が海外研修に出かけています。

専門学校の教育は、業界で活躍するプロを講師の先生に迎えて、たえず業界の最先端の技術と知識を学んでもらいます。そして「社会人基礎力+創造力」をもった“即戦力”の学生を育成しています。

私たちは学生さん一人ひとりに将来何をしたいか目的・目標を明確にしてもらって入学してもらっています。自己発見してもらい、在学中にセルフマネジメント、チームマネジメントを身につけて、自己変革のうえで卒業し、自己確立してキャリア開発してもらおうというフローの教育を行なっています。

その教育を支えているのが、「職業人教育を通して社会に貢献する」というミッションであり、実学教育、人間教育、国際教育の3つの教育理念です。そして学生・保護者からの信頼、高校の先生からの信頼、産業界からの信頼、地域からの信頼という4つの信頼です。

マネジメントの前提は社会、組織、人ですが、我々のグループは、人は財産、人は成長するものとしてみえています。ですから「一人ひとりを大切に」や「今日も笑顔であいさつを」、「健康で楽しく仕事を、そして幸せに」をモットーに掲げています。

これまで絶えず学科のイノベーションを行ない新たな職業教育分野に取り組んできました。30年前、全国に先駆けて医療秘書の学科を作り、昨年105歳で亡くなられた聖路加国際病院名誉院長の日野重明先生と医療秘書教育協議会を立ち上げ、先生が会長で私が理事長をやらせていただきました。医療機器を扱うメディカルエンジニアや再生医療に取り組むバイオテクニシャン、USJやディズニーで働くストリートダンサーや商業音楽など時代の変化、産業界の変化に合わせて20万人以上の職業人材を育成してきました。

e-sportsの学科もスタートさせています。これから大阪へのIR誘致を睨んでラスベガスにあるネバダ州立コミュニティカレッジとも提携し、IR関係の学科も作ります。新たな学校種として出来る専門職大学にも挑戦しようと思っています。「職業人教育」への挑戦はまだまだ続きます。